



島根県立農林大学校

Shimane Prefectural College for Agriculture and Forestry



沿革

- ◆昭和 10 年 三瓶農民道場設立、同じ年に島根県農林道場(旧吉田村杉戸)が開設、翌年県営化
- 昭和 20 年 開拓増産修練農場 に改称
- 昭和 21 年 三瓶修練農場 に改称
- 昭和 23 年 三瓶農事指導所 に改称
- 昭和 24 年 三瓶経営伝習農場 に改称
- ◆昭和 26 年 三瓶経営伝習農場を廃止、
農業経営研修所を農事試験場に併設
- ◆昭和 38 年 農林総合研修所を出雲市に新設
附属施設
養蚕研修所
畜産研修所
林業研修所
- ◆昭和 54 年 農林総合研修所を廃止し島根県立農業大学校新設
- ◆昭和 56 年 大田市に移転
- ◆昭和 57 年 農業大学校に養成部門、研修部門を置き新農業大学校となる
- ◆平成 18 年 森林管理科飯南町(中山間地域研究センター内)へ移転
- ◆平成 24 年 農林大学校に改称、有機農業専攻を新設、森林管理科を林業科に改称
- ◆令和 2 年 養成部門に短期農業経営者養成科を新設



教育の目的と基本方針

目的	次代の島根県の農林業をリードする農業者及び林業技術者の養成
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 高度な農林業技術と専門的知識を習得し、経営管理能力を養う。 ● 広い視野に立って農林業を考え、技術革新、経営改善に積極的に取り組み、新しい農林業を創造する能力を養う。 ● 先見性を持って流動的な社会情勢に対応するための分析力、判断力、行動力を養う。 ● 農林業生産及び農山村社会におけるリーダーとして必要な指導力、企画力、調整力を養う。
教育の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ● 実習を重視した実践教育 午前講義、午後実習が日課の基本／毎日が必須授業／農業者、林業技術者になるための専門学習に特化 ● 学生主体のプロジェクト学習 講義で学習したことを実習を通じて実践的・総合的に学習／学生が各自のテーマを持ち、主体的に実習に取り組む

教育体系

本校には養成部門と研修部門の2部門があります。

養成部門

- ①高校卒業程度の方を対象にした2年間の学習過程 【農業科・林業科】
- ②社会人経験のある方等を対象にした1年間のカスタム型カリキュラム 【短期農業経営者養成科】

研修部門

新規就農希望の方、農林業経営の改善を図りたい方などのための研修を実施

養成部門

- ・入学資格は高校卒業程度
- ・希望入寮制

※ 令和3年度から農業科に「就農準備コース（2年次）」を開設します。

科名	専攻	定員	修業場所	修業年限
農業科*	有機農業	40人	大田市波根町	2年
	野菜			
	花き			
	果樹			
	肉用牛			
林業科		20人	飯石郡飯南町上来島	
短期農業経営者養成科		5人	大田市波根町	1年

農業科

有機農業専攻



有機農業の考え方や土づくり・病虫害防除技術、有機JAS認証制度の基礎知識、水稲・野菜の育苗から収穫出荷までの方法などを学びます。また、県内の有機農業実践経営体の事例視察や講義、体験研修を通して、実践的で幅広い考え方を身につけます。

野菜専攻



メロン、トマト、きゅうり、いちごなどの栽培に取り組んでいます。野菜栽培の基礎をしっかりと学習しながら、学生自らが1棟ずつハウスを担当して生産計画を作成し、資器材準備、播種、育苗から収穫・調製まで、責任を持って管理を行うことで、一貫した技術を身につけることが可能です。学生が自作した安価で簡易な養液栽培システムを活用し、ほとんどのほ場を管理しています。

花き専攻



きく・トルコギキョウ・シクラメンなどを基本とし、学生の主体性を重視して、栽培計画の作成、栽培（播種・育苗・栽培管理・収穫）、出荷、結果の発表と、一貫した栽培技術と経営感覚を習得します。また、環境にやさしい花き栽培を認証するMPS認証や花育など、「ここでしか学べない」ことにも挑戦しています。

果樹専攻



ハウス栽培のぶどうやすもも、露地栽培の西条柿を中心に、果樹の生産管理はもとより、苗木づくりや若木育成なども実践し、果樹経営に必要な技術・知識を習得します。特に、ぶどうでは本県育成のオリジナル品種「神紅」の試験栽培や美味しまね認証にも取り組むなど、これからの新しい農業経営スタイルを目指した、より実践的な考え方を磨きます。

肉用牛専攻



家畜飼養管理、家畜栄養飼料及び畜産経営などを学び、畜産に必要な幅広い知識を身に付けます。農場では繁殖・肥育一貫経営を軸に肉用牛の生産・管理技術を身に付け、大型農業機械による飼料作物の栽培・収穫・貯蔵技術を実践します。また、家畜人工授精師、削蹄師、家畜商や大型農業機械などの資格にも挑戦します。

林業科



森林の適正な管理方法や高性能林業機械を使用した木材の伐採・搬出など、「森林を守り・育て・活かす」という視点に立って、森林・林業及び木材産業に関する知識や技術を、実習中心のカリキュラムを通じて習得します。また、林業事業者が望む人材を育成するため、森林技術だけでなく、企業マネジメント教育を充実させ、2年生時に「森林技術コース」と「経営管理コース」の2コースを設置しています。

短期農業経営者養成科



カリキュラム（農業科の基礎講義、県内外の第一線で活躍する講師を招いた特別講義、学校ほ場での農業実習、就農に必要な資格・免許の取得、就農予定地研修など）を自身の就農ビジョンに合わせてカスタマイズすることで、農業経営者に必要な知識・技術を短期間で習得することができます。入学前から自身の「就農ビジョン」を持てるようサポートするため、卒業後スムーズに就農できます。

農林大の一日

8:40~	8:50~10:20	10:30~12:00	12:00 ~13:00	13:20~14:50	15:10~16:40	~17:00
HR	午前は講義中心		課業準備	午後は実習中心		課業整理
	1限(90分)	2限(90分)	昼休み	3限(90分)	4限(90分)	
						

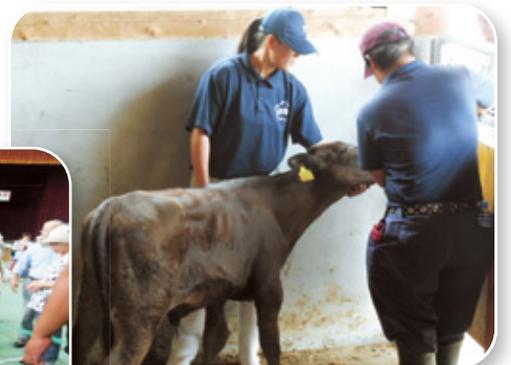
イベントカレンダー

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入学式	鳥取農大交歓会 春季スポーツ大会	就農ガイダンス	農大祭 就職セミナー オープンキャンパス	夏季スポーツ大会 オープンキャンパス	前期試験 先進農林業者等体験学習(2年)	県外(大阪)学習2年 中国地区農大生の集い	農林大市場 秋季スポーツ大会	日本農業技術検定	卒業論文発表会 中国四国農業大学校プロジェクト発表会 冬季スポーツ大会	就職セミナー 全国農業大学校プロジェクト発表会	卒業式 後期試験



学校行事

- 農大祭をはじめ、スポーツ交流会、鳥取農大との交歓会など、学生自治会が中心になって運営しています。
 - オープンキャンパス「緑の学園」を夏に開催しています。
- (各種行事は新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言等により中止の場合があります)



教育科目

農 業 科	共通科目		農業概論、作物概論、植物生理、土壌肥料、作物保護、農業気象、園芸施設、農業機械、農業機械演習、農業経営、マーケティング概論、マーケティング演習、農業政策、アグリビジネス、食の安全安心、農業組織論、野生鳥獣被害対策、環境保全と農業、農業簿記、農業簿記演習、情報処理、農業基礎実習、特別集中講義
	専 攻 科 目	有機農業	有機農業、有機稲作、有機農業先進事例講義、専攻実習（有機農業・有機稲作）、地域農業実習、地域有機農業体験実習（先進農家での有機栽培体験）、先進農林業者等体験学習
		野菜	園芸各論（野菜）、専攻実習（野菜）、地域農業実習、先進農林業者等体験学習
		花き	園芸各論（花き）、専攻実習（切り花、鉢花等）、地域農業実習、先進農林業者等体験学習
		果樹	園芸各論（果樹）、専攻実習（ぶどう、柿、すもも等）、地域農業実習、先進農林業者等体験学習
	肉用牛	家畜飼養管理、家畜繁殖、家畜栄養飼料、草地飼料、家畜解剖生理、家畜審査、家畜育種、家畜衛生、牛胚移植概論、畜産経営、専攻実習、地域農業実習、先進農林業者等体験学習	
林業科			林業入門、林業概論、森林林業政策、林業経営、林業経理、経営実践、事業体経営、事業体管理、樹木、測樹、測量、森林情報、森林経営計画作成、森林施業プランナー、スマート林業、木材利用、森林資源活用、木材流通・販売、木造建築、林業機械、労働安全衛生、伐木技術、採材技術、森林路網、育林技術、育苗技術、森林保護、専攻実習、先進農林業者等体験学習
短期農業経営者養成科			農業科共通科目、専攻別講義、経営力入門、マーケティング・流通、ファイナンス・会計、マネジメント、農業基礎知識、経営革新（特別集中講義必修）実習、先進農家等視察、就農予定地研修ほか

資格・免許

在学中、次の免許または資格等が取れるように指導・便宜を図ります。

●全科共通

- ◇大型特殊運転免許 ◇フォークリフト運転技能者 ◇ボイラー取扱技能者
- ◇車両系建設機械運転技能者（整地・運搬・積込及び掘削用） ◇刈払機取扱作業者
- ◇毒物劇物取扱者（一般、農業用品目） ◇危険物取扱者（乙種4類） ◇けん引免許（農耕車限定）
- ◇ガス溶接 ◇小型移動式クレーン運転技能者 ◇日本農業技術検定 ◇狩猟免許（わな猟免許）



●花き専攻

- ◇フラワー装飾技能士（2・3級） ◇色彩検定 ◇園芸装飾（室内園芸）技能士（3級）

●肉用牛専攻

- ◇家畜人工授精師 ◇家畜商 ◇削蹄師



●林業科

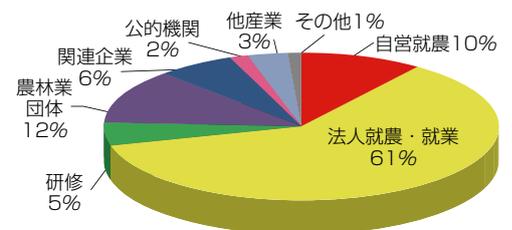
- ◇林業架線作業主任者免許講習（修了後実務経験2年以上で免許申請が可能） ◇伐木等業務特別教育
- ◇車両系木材伐出機械等運転業務特別教育 ◇機械集材装置運転業務特別教育 ◇玉掛け技能講習 ◇森林情報士（2級）

進路

卒業後の進路は、すぐに就農・就業（自営や農業法人、森林組合等に就職）する人、農協などの農業団体や農業資材販売など農業関連企業へ就職する人など多様ですが、それぞれの目標に向かって進みます。

本校では無料職業紹介事業を実施しており、個々の学生に応じた進路相談を行っています。

卒業生の進路状況（過去3年間：95名）



主な進路（H30・R元年度実績）

- 自営就農：有機農業、野菜、花き、果樹
- 農業法人等：まるなつ農場、JAアグリ開発[㊦]（農）横尾衛門、（農）やしま営農組合、[㊦]コッシーふぁーむ、TC 浜田農場[㊦]、[㊦]玉木園芸、[㊦]農縁隊清滝牧場、[㊦]藤増、[㊦]三和農産、吉賀町農業公社、（農）はね営農組合、[㊦]いづも農縁、（農）のきの郷、[㊦]愛ランドファーム、[㊦]島根農場、[㊦]田原牧場
- 農業団体：島根県農業協同組合、JAアグリ開発[㊦]、全国和牛登録協会島根県支部
- 森林組合等：島根県森林組合連合会、飯石森林組合、大田市森林組合、石央森林組合、[㊦]赤松産業、山興緑化（有）、伸共木材協同組合、須佐チップ工業（有）、[㊦]田部、[㊦]松浦造園
- 関連産業：[㊦]一畑パーク、平田生花店、[㊦]ヤンマーアグリジャパン、JA いずも農機サービス

在校生からのメッセージ



「人の体にも、そして環境にも優しい食べ物を作りたい」、そう夢見て私はこの有機農業専攻にやって来ました。ここでは、そのために必要となる有機農業特有の栽培方法、また知識と資格を先生や友達と一緒に学び身につけることができ、とても充実した日々を過ごしています。興味のある方は是非来てみてください！
農業科有機農業専攻2年 岡山恵臣

私は卒論で、単為結果性ミニトマト2品種の比較をしています。実習では、いろいろな野菜を栽培できるため、専攻で苗農家を営む実家に帰ってすぐ活用できる事を学べます。友達と協力しながら、充実した毎日を過ごしています。
農業科野菜専攻2年 荒木教光



私は、切り花を学ぶために花き専攻に入学しました。始めはわからないことだらけでしたが、日々の実習などで先生方や先輩に教えてもらいながら成長しています。花き専攻は家庭的な雰囲気もあり、仲間たちと協力しながら充実した毎日を過ごしています！
農業科花き専攻2年 多々納輝嗣

私は、将来農業がしたいくて、農林大学校に入学しました。私の好きな食べ物がぶどうで、将来ぶどうを作りたいと思い、果樹専攻に入りました。農業の知識は全くありませんでしたが、先輩や先生方が優しく一から教えてもらえるので、毎日楽しく、やりがいのある実習をしています。寮生活も楽しく、友達と色々な話ができ、良いものです。ぜひ、農林大学校に入学しませんか。
農業科果樹専攻2年 恩田優奈



私は非農家ですが、牛の管理について学んでみたいと、入学を希望しました。先輩や先生から丁寧に指導していただき、毎日大変ですが楽しく学んでいます。日々の実習では、広い放牧地で大きなトラクターを動かすことができたり、貴重な体験ができるので、ぜひ一緒に学びましょう。
農業科肉用牛専攻2年 坪田茉夕

日々の実習は、最初はきつかったですが、継続することで慣れてきました。特に、急傾斜でのチェーンソーを使った伐倒作業は、作業を中断することがありましたが、最後までやり遂げた時の達成感は最高でした。また、一緒に取り組む仲間がいて、頼もしく、楽しいです。林業科は、たくさんの資格が短期間にとれるなど、メリット一杯です。
林業科2年 森野尚輝



卒業生からのメッセージ



私は今、斐川町でぶどうを栽培しています！2年間農林大学校でぶどうの栽培管理や技術を学びました。卒業していきなりの自営就農で不安もいっぱい・希望もいっぱいですが、農林大学校で学んだ事を活かし、これからも頑張ります！
R元年度卒業生 小平 亮介

研修部門

これから農業を始めようとする方への研修

研修名	内容	対象者	開催時期
農業入門実践研修	新たに就農しようとする方等を対象とした農業技術研修で、有機農業・野菜・花き・果樹・畜産（肉用牛）のうち、希望する分野で実際の栽培を通して基礎的な栽培・飼養管理技術を身につけることができます。	新たに就農する方 県内で農業経営を 実践されている方 福祉事業所等の職 員の方等 定員 20名程度	6月～翌2月
特別集中講義	マーケティングや農業簿記、マネジメントスキルなど、農業経営者として必要な知識や技術を基礎から最新分野までテーマ毎に集中的に学ぶことができます。	新たに就農する方 地域おこし協力隊 等の研修生の方	8月～翌3月

林業技術を高めたい方への研修

研修名	内容	対象者	開催時期
林業エンジニア研修	林業の生産性向上を図るため、小面積皆伐地における効率的な作業システムの導入・運用に必要な、専門的かつ高度な知識・技術を備えた人材及び林業架線作業技術者を育成します。	認定事業者の現場 技術者等	林業架線作業（基礎・ 応用）・簡易架線集材 コースを設定 8月～12月の間に各2 ～10日間実施

その他の研修

研修名	内容	対象者	開催時期
しまねの農林業体験教員研修	県内の小中高校教員を対象に、農作業体験等を通して農林業に対する理解促進や、農林業体験作業への取り組みを支援します（島根県教育委員会の後援研修です）。	県内小中高校教員 定員 40名程度	8月中旬（2日間）



